

体育祭でダンスを披露する清真学園の生徒たち＝鹿嶋市宮中



# 息の合ったダンス披露

## 鹿嶋・清真学園で体育祭

清真学園高校・中学（飯山克則校長、生徒965人）の体育祭が4月20日、鹿嶋市宮中の同校グラウンドで行われた。4年ぶりに一般にも公開され、生徒たちは練習の成果をかんだんに披露した。

体育祭は同校伝統行事の一つで、中高一貫教育の特

色を生かし、中学1年生から高校3年生までが学年やクラスに関係なく、六つの団に分かれて競うのが特徴。一度決まった団は卒業まで6年間変わることがないという。実行委員会をつくり、生徒中心に準備し、運営する。

新型コロナウイルスの影響

警で2020年は中止、21年は生徒だけの開催となり、22年の公開は保護者に限定されていた。今回はテーマに、仲むつまじいを意味する「Harmonious US」と決め、「US」を大文字にして「私たちが主体」を強調した。

生徒たちはクイズを取り入れた競技や、三人四脚、リレーなどに汗を流した。ダンスは団ごとに高校3年生を中心としたグループ約40人ずつが、音楽に合わせて演技。息の合った動きに多くの拍手が送られた。

飯山校長は「伝統行事が通常通りに開催できて良かった」と喜び、実行委員長の真家海図さん（17）は「たくさんの方々に足を運んでもらえてうれしい。拍手の量で体育祭を開催したという実感が湧いてきた」と話した。（小池忠臣）